

派遣留学生帰国報告書

* 帰国(復学)後の情報を入力してください

記入日	2021.02.11
所属学部・ 研究科・学府	国際教養学部
所属学科・専攻	国際教養学科

1. 留学先について

留学先大学名	University of Prince Edward Island										
留学先所属学部等	Environmental Studies										
留学期間	出発日	2019/7/21	入学日	2019/9/3	修了日	2020/4/29	帰国日	2020/3/22			
住居	大学(紹介)の寮・アパート	<input type="radio"/>	民間アパート	<input type="radio"/>	その他()						
	通学時間						On campus				
	通学方法	徒歩									
	居室スペース	個室	<input type="radio"/>	(2)	人部屋	その他()					
	共有スペース	完全個室	<input type="radio"/>	キッチン	<input type="radio"/>	トイレ	<input type="radio"/>	バス	<input type="radio"/>	リビング	<input type="radio"/>
食事	自炊	%	学食	90	%	外食	10	%	その他	%	()
保険	海外旅行保険(名称)	JI傷害火災保険									
	派遣先大学指定の保険(名称)	Guardme								<input checked="" type="checkbox"/>	強制加入
	その他										
渡航ルート	ex.) 成田⇄シカゴ(飛行機)⇄ウィスコンシン(電車)										
成田 ⇄ モントリオール ⇄ シャーロットタウン											

2. 留学にかかった費用について

総費用	1,500,000 円										
出どころ											
自費	<input type="checkbox"/>	貯金	円	<input type="checkbox"/>	アルバイト	円	<input type="checkbox"/>	その他	円		
援助	<input checked="" type="checkbox"/>	両親	1,500,000	円	<input type="checkbox"/>	家族・親戚	円	<input type="checkbox"/>	その他	円	
奨学金	<input type="checkbox"/>	JASSO	円	<input type="checkbox"/>	その他名称()	円					
その他	<input type="checkbox"/>	その他()	円								

2-1. 財政管理の方法

渡航時	<input type="radio"/>	現金	50,000 円		その他()	円
留学中		海外送金		<input type="radio"/>	キャッシング	その他(クレジットカード)

2-2. 各費用の支払い方法

大学に払った費用	振り込み
住居にかかった費用	振り込み
その他	

2-3. 内訳

費目	外貨金額		円貨金額	
	通貨単位			
渡航費(往復)			300,000	円
海外旅行保険			200,000	円
OSSMA				円
査証・在留許可証				円
住居			(学食込み)800000	円
食費				円
通学に要する交通費				円
教科書、教材費	カナダドル	1,100	90,000	円
その他大学に支払った経費	カナダドル	120	10,000	円
光熱費				円
その他 (交際費)			100,000	円
その他 ()				円
その他 ()				円
その他 ()				円

3. 学業面

履修科目名	種類 ^{ex.正規、聴講}	単位数	単位互換認定申請の有無		
			○	有	無
1 Surveying Cultural Landscapes	正規	3	○	有	無
2 Marketing	正規	3	○	有	無
3 Introduction to Sociology	正規	3	○	有	無
4 Introductory Spanish1	正規	0	○	有	無
5 Intr Commuty Climate Prog Tech	正規	3	○	有	無
6 Organizational Behaviour	正規	3	○	有	無
7 Genders in Canadian Society	正規	3	○	有	無
8 Intro to Environmental Studies	正規	3	○	有	無
9 Introductory Spanish2	正規	0	○	有	無
10				有	無

3-1. 授業科目の選択、登録方法

授業開始1週間後までに履修登録を完了しなければならない。交換留学生はポータルでの登録ができず、インターナショナルオフィスでスタッフの方に登録してもらわなければならなかった。受講要件に満たさない場合でも、教授に許可をもらえば受講することができた。私は環境学を中心に受講した。他にはジェンダーや社会学など学部関係なく、興味がある授業を受講した。インターナショナルオフィスのスタッフの方が優しく、親身に授業決めの相談に乗ってくれた。

3-2. 授業内容、方法に関して

授業は週に約3時間と決まっており、週3・1時間の授業、週2・1.5時間の授業、週1・3時間の授業と、3つのタイプがあった。授業形式は、講義型からディスカッション形式のものまで様々であった。どの形態の授業でも共通して、生徒の発言が多く積極的に参加していたのが印象的である。一つだけオンライン授業を受講していたが、定期的にworkshopが開催され、生徒間の意見交換が重視されていたように感じた。

3-3. 語学力について

生活面で語学に困ったことはなかった。友達やルームメイトとの会話も比較的上手く行った。しかし、授業面では少し苦勞した。特にディスカッションやプレゼンにおいて自分の語学力の足りなさを感じた。しかし、事前に意見をまとめたり、文献を読んだりして乗り越えることができた。語学面で足りない部分があったとしても、自分が何か発信しようと思えば、周りは必ず真剣に聞いてくれる。あまり劣等感を感じる必要はないことに気がついた。

3-4. 図書館など学内施設について

図書館では勉強する環境が非常に整っていたように感じる。大部屋は私語厳禁の部屋と話し合いができる部屋があり、また、予約制の個室や少人数部屋も存在していた。土日も含め毎日解放されていた。グループプロジェクトのミーティングの際は図書館の少人数部屋を予約して利用することが多かった。また、テスト前などは図書館で無料の飲み物や食べ物が用意されていた。他には、運動施設も充実していた。無料で毎日ジムを利用することができた。また、スケートリンクやプール、体育館なども、チームが利用していない時間であれば利用することができた。

3-5. その他

4. 生活面

4-1. 住居について

部屋は2人で共用し、バスルームを4人で(隣の部屋の人)と共用した。部屋は仕切りなどはないため、私的な空間は一切ない。部屋の大きさに関しては、広く、2人が十分に暮らせる大きさだった。洗濯機・乾燥機は各フロアに2個ずつあり、誰も使用していない時を見計らって利用していた。キッチン各フロアに1つあったが、この寮に住む人はmeal planが強制であったため、利用する人はほとんどいなかった。

4-2. 食生活について

友達と出かける時以外は、寮のご飯を食べていた。7時から21時の間であれば、何回でもいくことができた。食事内容は毎食変わっていたが、飽きたこともあった。その際は学内にあるレストランか近くのファストフード店で食べる事が多かった。

4-3. インターネット環境、携帯電話について

インターネットに関しては学内寮内どちらもwifiが通っていたので全く問題はなかった。携帯は、SIMカードを購入し利用していた。

4-4. 服装について

服装は常にラフな格好であった。(パーカー、セーター、ジーンズ、レギンスなど)冬はかなり寒いので厚めのコートを着ていた。寮内は常に暖房が効いていたので、半袖短パンで過ごしていた。

4-5. 健康管理について

毎日規則正しい生活を送っていた。

4-6. 保険、OSSMAの利用について

特に利用していない。

4-7. 課外活動について

テニス部とボランティア部に所属していた。テニスに関しては、テニスコートが学内にないため、近くの施設まで通っていた。ボランティアについては週に1回ミーティングを行い、企画を立てていた。またカルチャーイベントでは、日本チームとして様々な出し物を行った。

4-8. 学外のコミュニティとの交流について

特になし

4-9. 日本から持参してよかったもの

何でも現地で買うことができたので、あまり物を持っていく必要がないと感じた。

4-10. 日本から持参したが不要だったもの

4-11. 現地での対人関係について気づいたこと(習慣の違い、マナーなど)

基本的なマナー(日本と変わらない)

基本は特に変わらないが、日本ほどあまり周りを気遣う必要がないと感じた。皆あまり周りの言動を気にしていない。

4-12. 余暇の過ごし方

旅行

【トロント】2019年12月、約10万
 【ニューヨーク】2019年12月、約25万
 【モントリオール】2020年2月、約7万

その他 * 気分転換やストレス発散法など。

友達と話す
 映画やドラマを見る

5. その他

5-1. 留学先大学について

あまり大きくないので、非常にアットホームな大学である。全体的に留学生が多い印象。大学が都市部がないので、現地学生も留学生もほとんどが寮生活をするのが特徴である。大学の学生や教授、街の人皆がフレンドリーで親切だった。田舎なのであまり遊びに行く場所がない分、友達と会話をする時間が長く、密な関係を築くことができたと思う。

5-2. 留学希望者へのアドバイス

流れに身を任せることが大事だと感じた。授業や生活で大変なことはたくさんあるが、あまり気負いすぎず普通に楽しもうという感覚で過ごす、長期間安定した精神状態を保つことができる。自分から動き、努力を続ければ、必ず助けてくれる人はいるし、良い方向に向かっていく。日本ではできない経験がたくさんあり、非常に濃い毎日を過ごすことができると思う。あっという間に留学生活は終わってしまうから、毎日大切に過ごしてほしい。

5-3. 留学を終えて

非常に濃い9ヶ月間だった。毎日過ごしているだけで新しい体験ができる。今では大変だったことも楽しかったことも全て良い思い出である。留学を通して、自分から動くことの大切さと周りのサポートのありがたさを実感した。授業でも課外活動でも自分から動かなければ何も始まらない。自分の留学生活を有意義にできるかどうかは自分にかかっていると思う。どんなことにもチャレンジして、何か問題があったら必死で乗り越えることで成長に繋がると思う。また、このように必死に生きていたら必然的に周りが助けてくれる。自分1人ではできなかったことや辛かったことは多くある。周りのサポートによって自分の留学生活はより豊かなものとなったと思う。